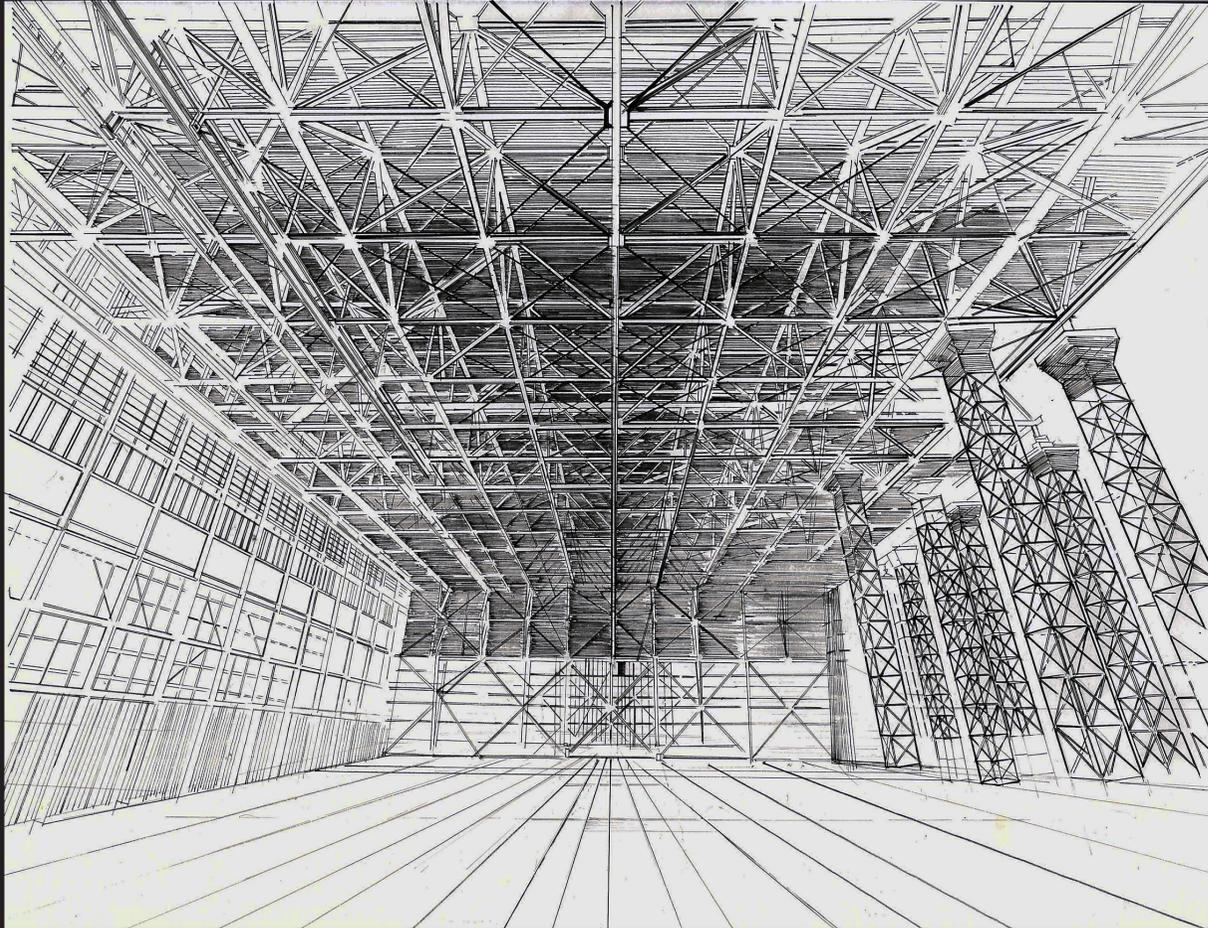


子供の目線で観て廻る美術館

水 Mito 戸 oka 岡 Art 美 Mus 術 eum 館



国鉄分割民営化によって国鉄をJRとして民営化したときに九州にはJR九州が誕生しました。当時のJR九州には、JR東日本やJR西日本のように資金に恵まれていなかったこともあり他社と違う路線で勝負しようとなりました。



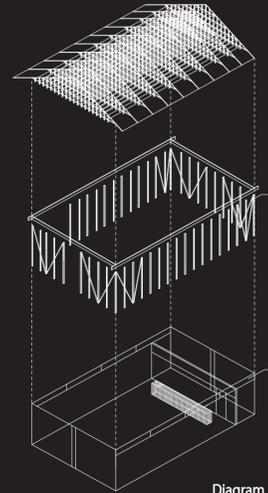
そこで、白羽の矢がたったのがインダストリアルデザイナーの水戸岡鋭治さんです。僕はこの方を選任させていただきました。

最初の福岡県の海の中道ホテルをつなぐ電車のアクアエクスプレスの設計から始まり現在の全国の観光列車の先駆けへと進めた方です。

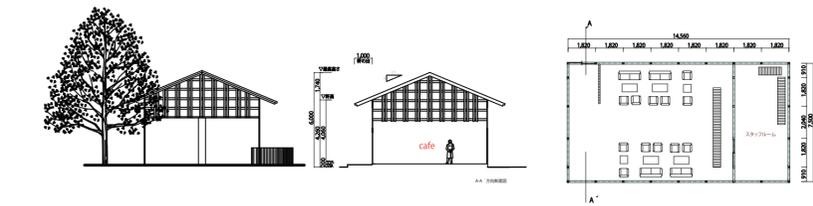
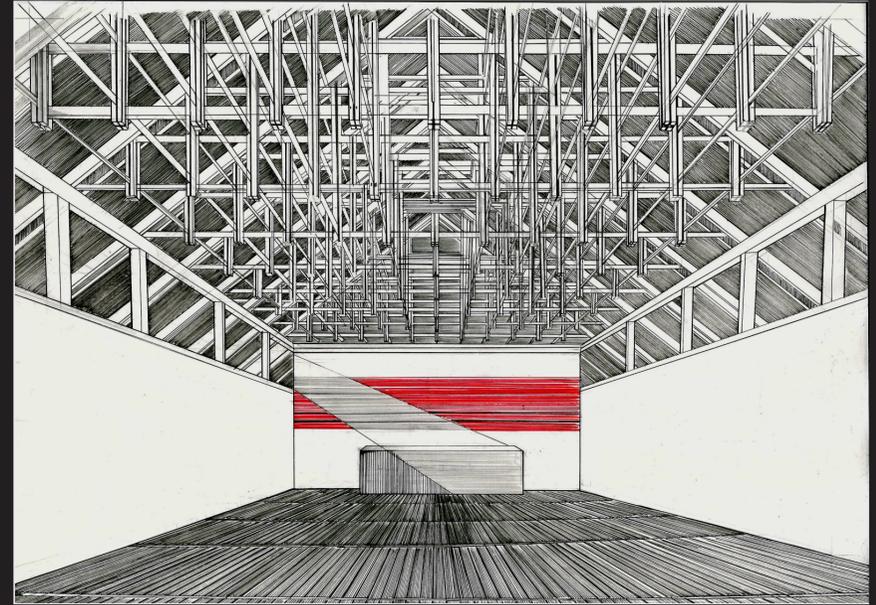
インダストリアルデザイナーとは日本語では工業デザイナーといえます。僕たちの周辺環境で作られたいもの思ったものは工業デザイナーがほとんど携わっているか、その思想を引き継いでいるものが多いです。そんな、インダストリアルデザイナーである水戸岡鋭治さんの作品を見て廻る美術館を計画しました。

建物施設概要

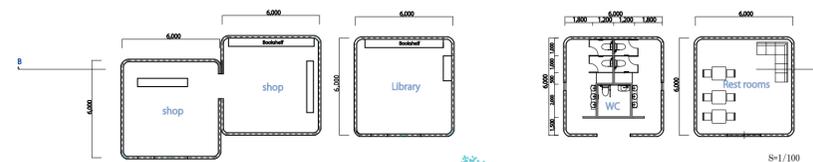
- ショップ**
じっくりとのぞけば、自分にとって特別なものが見つかるかも。
- カフェ**
季節の食べ物を味わいながら、美術館で過ごした不思議な時間にしてほしい。
- 展示室**
普段見ないものを俯瞰して見たり様々な角度で見たい。
- 授乳室**
小さなお子さんをつれて来てほしいと考え、スペースをおくりました。路を狭りながら



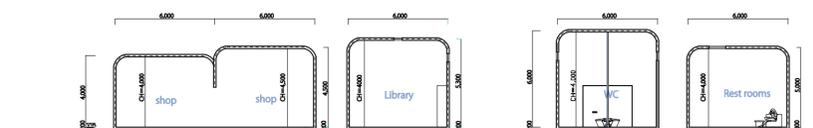
Diagram



S-1/100



S-1/100



パッシブデザイン

自然光を木の架構部材で乱反射させ拡散光により穏やかな光環境をつくりました。

建物の西側に落葉樹を植えることで、夏季は日射を遮り冬季は葉が落ちて、枝の間から日射が射し込むように計画しました。

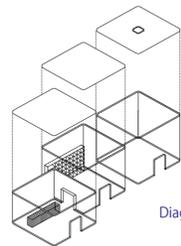


ランドスケープ・デザイン

施工が簡単だから、費用が安いから管理に手間がかからないから、そんな合理主義が昨今の建物を席巻しているように思います。

コンクリート金属で固められ、草一本生えてこない、虫一匹寄り付かない。そんな場所で子供の豊かな感性が育まれるでしょうか。草の上に腰をおろし小さな虫を手でつかみ、自然と触れ合うことで子供はみずから成長し、心豊かになると思います。

素晴らしい四季をもつこの土地で植物や生き物とともに季節を感じる美術館 そんな緑の計画をたてました。



Diagram



想定立地
福岡県大野城市乙金

総延べ床面積
1, 297.2 m²
RC造 36 m² × 5 = 180 m²
S造 1008 m²
W造 109.2 m²

